寺社を巡る会

活　動　記　録　書

開 催 日： 平成 27 年 12 月３日（木）	開催テーマ： 港北の古刹を訪ねる
開催場所： 高田、下田、日吉本町地区	記 入 者： 吉田　純一

参加人数：寺社を巡る会会員	男　24 名	女　４名	計　28 名
ビジター	男　　名	女　　名	計　０名
合　　計			28 名

実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題　など）：

コース：高田駅～高田天満宮～興禅寺～松の川緑道～下田町四丁目公園～鳥の広場～駒ヶ橋～眞福寺（法話拝聴、昼食）～下田神社～駒林神社～金蔵寺～日吉本町駅（解散）

午後には止む予報とはいえ，雨の高田駅を出発する。

最初に高田天満宮へ、名前の通り菅原道真を祀り、小蛇伝説を伴い、鎌倉時代末に創建されたという。

次は天台宗の興禅寺、８月に座学で鑑賞した恐山や三佛寺と同じ慈覚大師円仁が９世紀半ばに開山したと伝えられる古刹である。境内には六面に地蔵尊が彫られた石幢がある。

かつての小川を埋立てた約２キロ㌔の松の川緑道を行く。所々に湧水があり、下水道化した川が浄化しているのが分かる。

ステンレス製の鳥のモニュメントがある鳥の広場や、頼朝伝説のある駒ヶ橋を経て曹洞宗の眞福寺へ。ここでは副住職からの法話を拝聴する。子育延命地蔵の由来や厨子に収められたお地蔵さんが背負われて遠くの村々まで運ばれ、信仰の対象となった「回り地蔵」等の興味深い話を伺う。法話後お寺さんの好意で本堂を使わせて頂いて昼食をとる。

午後の最初は下田神社。当社は宝暦年間以前に創建の熊野神社があった場所に昭和 44 年、上町鎮守の天照大神社と下町鎮守の天満天神社を合祀して設立された。

慶応大の広いグラウンド脇を通って駒林神社へ。ここも道真公を祀る。昭和 39 年に石垣の工事を行ったが、その石は江戸城築城の際、各藩から献納されたもので、災害で崩れ落ち埋っていたものを神社に奉納したものといわれ、各大名の紋所を今でも読み取ることができた。

最後は、天台宗の金蔵寺。江戸寛永寺の末寺で平安時代の９世紀半ばの創建と伝わる。本堂は江戸後期の再建で密教道場の建築様式を伝えている。徳川家康寄進の梵鐘があり、朱色の弁天堂、水天堂等が印象的だった。また、参道の見事な桜並木も春はさぞかしと思われた。

昼食後はすっかり雨が上がった日吉本町駅で解散する。

参加者の状況・意見など：

前回長めだった距離を工夫してくれたため、雨も気にはならない探訪が出来た。

天台宗の寺院が２寺もあるなど、テーマ名に沿った古刹を訪ねられて満足だった。

次回の予定：

28 年１月７日（木）　10：00　横浜線・小机駅　　三会寺地区